

第 14 回日本精神保健福祉学会全国学術研究集会（福井大会）終了の御礼

令和 8 年 6 月 27 日（土）・28 日（日）の 2 日間、第 14 回日本精神保健福祉学会全国学術研究集会（福井大会）を福井県立大学において開催し、おかげさまで無事に終了することができました。ご参加いただいた皆様をはじめ、本大会の開催にご尽力、ご協力いただきましたすべての皆様に、大会事務局一同、心より御礼申し上げます。

本大会は、「精神保健福祉学における当事者の位置—共同と探究の現在地—」をテーマに開催いたしました。基調講演、シンポジウム、自由研究発表を通して、様々な立場の皆様がそれぞれの知見や経験を持ち寄り、「共同と探究」の意義について活発な議論が交わされました。また、当事者団体の皆様によるブース展示では、多くの参加者がご当地の当事者活動について温かく語り合い、新たな交流が生まれる場となりました。

大会期間中は、台風の影響による交通機関の乱れや機材トラブルなど予期せぬ出来事もございましたが、皆様の温かいご理解と柔軟なご対応に支えられ、盛会のうちに大会を終え、次回東京大会へバトンをつなぐことができました。

最後になりますが、本大会で生まれた出会いや対話、そして新たな交流が、今後の研究や実践へと広がり、精神保健福祉学の更なる発展につながることを心より願っております。

2026 年 7 月 3 日

大会長 岡田 隆志